

2020年2月15日(土) 海山FC(紀北町海山区) エレキボート ツレと
 小潮(旧1/22) 干潮03:36(54cm) 満潮09:44(141cm) 干潮16:26(44cm) : 尾鷲
 キス 17~19cm 8尾 リリース16尾 マゴチ 44cm 1尾

【釣果】 キス 17~19cm 8尾 リリース16尾 マゴチ 44cm 1尾

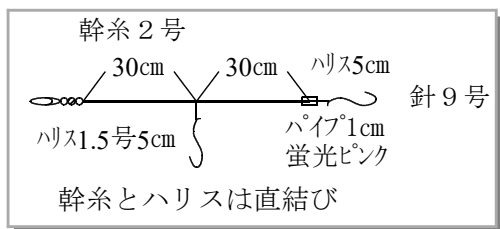


【海山FC】 海山フィッシングセンター TEL 0597-39-0474

【料金】 エレキボート ポイントが一杯になり、本日は無料。

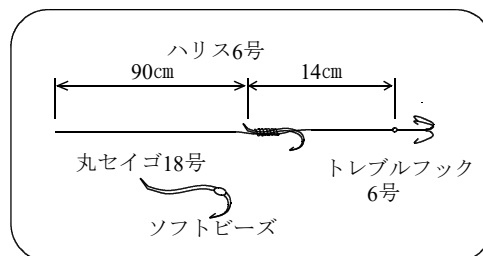
【エサ】 前日に、フィッシング遊 石ゴカイ 1.5杯を購入した。 ¥514(税込み)×1.5
 エサがなくなったので納竿とした。ちょうど良い量だった。
 魚の活性が上がってくると餌取りが多くなるので、1.5杯では少ない。

【仕掛け】 キス 自作仕掛け2本鉤 おもり12号



飲ませ釣り 名古屋天秤 おもり15号

イワシの泳がせ釣り仕掛けを利用



【様子】

- 6時30分 受付 / 7時00分 出船 / 9時44分 満潮(141cm:尾鷲) / 13時50分 納竿
- 曇り 無風
- 終日、風がなく水面は鏡の状態であった。ボートはほとんど動かない。
- いつものポイントでさっぱりダメ。スタッフさんが寒いから深場が良いだろうと言っていたこともあり、今まで行ったことのない場所一湾口に近い方で深いところを探ることにした。
- これまでのポイントは水深13mぐらいだろうか。
- 移動しては釣り、移動しては釣りを繰り返した。水深20mのところでは当たりがあった。水深25mのところでは当たらなかった。
- 水深20mでも水深25mでも、仕掛けを底から持ち上げようとする、グッと重くなる場所があった。海底がおそらく、粘土混じりになっているのだろう。キスのいるところは砂であろうと思い、そういった場所で釣ることは避けた。

- 水深18m～20mのところできスが釣れる場所を見つけたので、そこで釣ることにした。
- それにしても当たらない。
- ボートが流れないということもあるのだろうか。今日は頻繁に誘った方が良かった。“誘いをかけて、喰うタイミングを作るために止める。当たらないか少し待って、当たりがなければ、また誘う。”といったことを繰り返した。
- 小さなキスが釣れたので、これを餌に飲ませ釣りをツレが行った。イワシ泳がせ釣りの仕掛けをリユースした。これを天秤に直に結んだ。おもりは15号にした。餌のキスが底から少し上を泳ぐことをイメージして、おもりが着底したらリールを3回巻いて、底を切った。
- ふと飲ませ釣りの竿を見ると、竿先がグングンと引っ張られているような感じだった。根掛かりではなさそう。ツレに竿を巻くように伝えた。魚が引くとドラッグが滑ったり、リールが巻けなくなったりする。やがて浮いてきた。マゴチだ。やったー。矢口浦で飲ませ釣りで始めて釣れた。
- もう一回、当たりがあったが、しっかり飲み込むまで待っていたら、当たりが止まってしまった。残念。餌のキスにはなんとなく傷が付いているような状態だった。

【釣れる場所を探る】

- 二人で2投して、キスらしい当たりがなければ移動。

【今日の誘い方】

- 状況としては、無風でボートはほとんど動かないという状況だった。
- 「投げてさびいて待つ」はダメだった。
- 「投げて、竿を立てにチョンチョンとあおって待つ」を繰り返した。当たるときもあったが、これがヒットパターンにはならなかった。
- 「投げて、竿先が水面にくるまで道糸を巻く。おもりを海底から浮き上げる感じで竿を大きく立てにあおる。おもりが着底すると糸がふけているので糸ふけを取り、あたりを待つ。」このパターンでキープサイズを2尾取った。持ち上げてくるときやあたりを待っているときに当たりがあった。しかし、後半はさっぱりダメだった。
- 「仕掛けを真下に落とす。着底したらおもりを底から少し浮かせ、竿先を振っておもりを動かす。おもりが20～30cmくらい上下する感じで動かす。そして、待つ。」 おもりを上下させることで、餌を動かすことになる。仕掛けが長いと、おもりを動かしても餌があまり動かない。仕掛け全体の長さは今の長さでちょうどいいのであろう。終盤はこのパターンで頻繁に当たりがあった。時すでに遅く、餌が切れて納竿となった。
- 今日は頻繁に誘いをかけないと釣れなかった。そうは言うものの、喰わせるタイミングとして、“待つ”ことは必要であった。誘いの途中で喰ってくることはなかったから。